ASTAGE College

MAKE TOMORROW
A LITTLE BETTER

社会に学ぶ　社会の中で学ぶ　社会の一員として学ぶ

January
2026.1

謹賀新年

「ひらかれた出会いが、
未来をつくる。」

あけましておめでとうございます。

旧年中は、ご家族さま、関係機関の皆さま、講師の皆さま、そして企業や地域の皆さま、より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

２０２２年５月の開所以来、企業訪問は約２０社、世の中探訪は約４０施設、ゲスト講師としてお越しいただいた方は約２００名、ビジター参加は約１３０名となり、多くの方々とのご縁に恵まれてまいりました。

なぜ、ここまで社会との交流に注力するのか。それは、代表である私自身が、かつて経営者として約５年間、引きこもってしまった経験があるからです。新たな人との出会いや交流が負担となり、心が閉じていく時期がありました。しかし再び殻を破り、前を向くきっかけをくれたのは、やはり〝社会のひと〟でした。出会いは視野を広げ、視座を高め、自分を成長へと導いてくれる―その確かな力を身をもって感じてきました。

だからこそ、ＡＳＴＡＧＥカレッジは「日本で一番ひらかれた社会福祉の現場を創る！」ことを掲げております。

私どもは、社会生活力を育て、社会の一員として学び、ともに成長していく。

そのために、社会との多様な出会いとつながりを大切にし、利用者の皆さまにもその機会を惜しみなく届けてまいりました。小さな出会いが明日の一歩につながる瞬間を、私たちは幾度も目にしてきました。

今年も、利用者の皆さまが「明日をひらき」「自分をひらく」ための確かな経験を積み重ねられるよう、スタッフ一同、心を込めて伴走してまいります。

皆さまにとって、本年が健やかで希望に満ちた一年となりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

代表　山下　勇雄

午

hair make
GARAKUTA 生野店

「髪」を切るのではなく、お客様の「人生」に寄り添う。

山口哲也
(hair make GARAKUTA生野店 オーナー)

JR桃谷駅を降りると、目の前には昔懐かしい風情のある商店街がつながっています。それを東に抜けると、美容室が3軒並ぶユニークな一角があり、その3軒目が、今回の訪問先である『hair make GARAKUTA 生野店』です。

到着するとすぐに、オーナーの山口さん夫妻と愛犬アンジュがお出迎えしてくれました（写真左）。優しい日差しが差し込む店内は、素朴だけれどもセンスが光る落ち着いた雰囲気で、緊張したメンバーたちの表情が一気に和らぐのがわかりました。

お互いの自己紹介を終えると、先ずは山口さんのお話を伺いました。九州・熊本の炭鉱町で育った山口さんは高校卒業後、大阪・心斎橋の美容室に就職。社員寮は6畳一間に4人という、時代感のあるお話でしたが、それも全く苦にせず働き続け、気が付けば40数年間、ほとんど休まず働きづづけてきたそうです。よっぽど美容師が好きなのかと思いきや、「ホンマは学校の先生になりたかったんですけどね（笑）」とのコメントに一同ビックリでした。すると、ほとんど同じく長いキャリアを共に歩んでこられた奥様からは「私も美容師になりたい…というよりは、高校時代、パリに強い憧れがあって、その美容学校に入ったら、卒業研修でフランス行ける…って書いてたから入学を決めました（笑）」とこれまたビックリ！実はそこに長続きの秘訣があって、お二人が共に大切にしてきた想いがありました。

山口さん曰く、「美容師の仕事は対人接客業。技術と人柄の双方が求められる仕事なんです。特に私たちは、人と接するのが好きなので、美容師になりたいというよりも、人とのつながりを大切にしたい…という想いが先にあって、その方法として、たまたま美容師を選んだっていう感覚ですね。」とのこと。参加メンバーからは「仕事選びのきっかけは、流れや成り行きでも良いんだ。」という新鮮な気付きになったようです。更に山口さんのお話は続き、「どんな仕事でも良いから、その仕事に自ら楽しみを見つけることが大切です。」と伝えてくれました。

山口さんたちの40数年に及ぶキャリアは、言葉にするほど簡単ではない事はメンバーたちも直感的に理解していました。ただ、その実際の大変さを含めて"仕事を楽しむ"と明るく、ユーモアを交えながら話してくれたお二人の凄さを多くの参加者が感じてくれていました。

その後もざっくばらんに質問タイムが続き、「美容室が苦手。どうすれば良い？」「鬼滅の刃みたいにして…っていうお客さんいますか？」などにも全て明るくお答え頂いたお二人に感謝感謝です。有難うございました！

■hair make GARAKUTA 生野店
■〒544-0034 大阪府大阪市生野区桃谷３丁目２２－１８
■業種：美容室、訪問美容
■取組み：早朝7時から予約可能、ヘナカラーや石鹸シャンプーなどカラダにも地球にも優しい姿勢は、常にお客様本位を第一に考える証です。

しめ縄づくり

日本のお正月とは、年神様が宿るお餅を食べて一年の健康を願う習慣。

梅木 大輔
（国際教養振興協会 理事）

ASTAGEカレッジをオープンした4年前から、毎年、梅木さんにご協力いただいて「しめ縄ワークショップ」を開催してきました。昨年からビジター参加OKのセミオープン企画となったのですが、今年は参加者・スタッフ・講師をあわせて総勢27名と大盛況となりました！

梅木さんは本業の傍ら『一般社団法人国際教養振興協会』の理事として『しめ縄∞プロジェクト』の普及活動に取り組んでおられます。同団体は、日本が持つ2600年以上の伝統と文化のチカラを日本人自身が再認識し、世界に発信していくことを理念としておられます。今回も、冒頭に梅木さんから、お正月の意味やその成立ち、なぜ門松で、なぜ雷で、なぜしめ縄なのか？一つ一つ丁寧にお話をしていただきました。参加者の多くからは「へぇ～、知らんかった！」と驚きの声が何度となく発せられました。

説明を聞いた後は、隣同士がペアとなってしめ縄づくりに挑戦です。ASTAGEカレッジで講師をして頂いた方やそのお知り合いの方など、顔見知りから初対面まで様々なペアが協力しながら、しめ縄づくりに挑戦していきます。「ちがう、ちがうっ!?」「もっと締めて！」と色々飛び交うのですが、総じて皆さん笑顔です（笑）

『笑う門には福来る』と昔から言いますが、やっぱりみんなで何か協力をして行うというのは、本質的には楽しいんですよね。今回は家庭サイズのしめ縄ですから二人で十分なのですが、よく神社などにある大きなしめ縄をつくろうと思えば、田植えや稲刈りは勿論のこと、村中から総出で取り組む一大イベントだったのだろうと思います。村人が集って、一緒に汗をかいて、大きなしめ縄を結って、来年の五穀豊穣を願う。日本に古くから伝わる伝統や習慣には、神様をお迎えするといった儀式的な側面だけではなく、仲間とのつながりを豊かにする社会的な役割もあったと思います。今回の企画を通じて、改めて日本って良いなって思いましたし、この伝統や文化が途絶え始めている今だからこそ、学び直しが必要だなと思いました。

■ 国際教養振興協会
しめ縄∞プロジェクト

https://www.

ペーパークイリングでXmas飾り

ペーパークイリングをご存知でしょうか？細く切った用紙をクルクルっとクイリングして形を整えボンドなどで張り合わせると、独特の風合いを持った作品が生まれます。
今回は、Xmas飾りをつくりましたが、年賀状やバースデーカードなどの平面系のものから、立体的に組み合わせるパターンまで、非常に自由度の高いワークでした！

ポンポン鏡餅

100均グッズをつかって、毛糸からポンポンをつくる→ハサミでキレイにカットする…といういたってシンプルな作業なのですが、これが意外に奥深い。
毛糸の巻き数で密度を調節して、トリマーの様に慎重にカット。手のひらから伝わるモフモフ感に参加者のほっぺは緩みっぱなしでした（笑）

よのなか探訪

ベイエリア散歩

新たな情報があると、いつもの景色が違って見える

大﨑麻佐子
（おでかけエスコートさちたび屋・代表）

プロツアーガイドでもある大﨑さん（写真左）と一緒に、大阪ベイエリアを堪能してきました！
JR夢咲線・桜島駅を降りてしばらく歩くと、『天保山渡船場（大阪市営）』に到着。参加者の多くが初めてという「渡し船」に揺られて向こう岸の天保山公園や海遊館など人気スポットを目指しました。たった2分30秒の出来事でしたが、波に揺られる体験は中々のアトラクションでした！
日本有数の低山『天保山（標高4.53m）』登山、マーケットプレイスで昼食＆散策を楽しみました。お天気は晴れだったのですが、海風はかなり冷たく、元気に走り回る小学生をうらやむばかりの大人ツアーでした（笑）

■おでかけエスコート・さちたび屋
■電話 080-8733-3021
■メール osaki@masakomo.xsrv.jp

クリスマスマーケット inてんしば

毎年恒例!?となっております、Xmasマーケットinてんしば。今年も冬晴れの素晴らしい天候に恵まれ、素敵な時間を過ごしてきました。

少し値段が高めの露店が並びますが、こういう時は、色々躊躇し過ぎずに、楽しんだもん勝ちです。ここでしか買えないキャンドルを購入する人、カレーパンやコロッケを美味しそうにほうばる人など、それぞれの楽しみ方がありました。

昨年も参加したメンバーからは「ゴミひとつ落ちていない。スゴイ！」と、楽しみ方だけではない視点や運営側の努力に気付くメンバーも居て、各々の成長を感じられる瞬間もありました！

■クリスマスマーケットinてんしば
■開催期間　11/28(金)～12/25(木)
■開催時間　11:00～21:00

和に学ぶ

80年前に日本を守った人たちを想う

清水有子
（和道家）

今回の生活学「和に学ぶ」のテーマは、「命の大切さ」です。80年前の12月8日、日本は、様々な世界情勢のうねりの中で「戦争」という道を選択しました。

その戦争のことを私たちは「太平洋戦争」と学校で習いましたが、清水さんからは「大東亜戦争」という呼び名と、その言葉に込められた想いを新たに学びました。

戦争の是非を問うのではなく、『その時代を生きた若者たちは、どの様な想いを抱いていたのだろう？』『その戦争で亡くなっていった300万人の人々は、今の私たちを見て何を想うだろう？』そんな問いに、すぐには答えを出せない私たちでしたが、参加したメンバーそれぞれに、色々な想いを胸に抱く大切な時間となりました。

Xmasクッキング

何でも楽しくすることが大事 楽しく作って美味しく食べる

藤原 智子
（株式会社ポムスタイル代表）

毎年恒例となったXmasクッキング。いつものチャレンジクッキングとは違って、藤原さんを講師にお招きしてのスタイル。「みんなで料理するのは中学校の家庭科ぶりです！」なんてメンバーも居て、みんなでワイワイしながら、料理だけでなくその間のコミュニケーションも楽しみました。

午後からの振返りでは、プログラムを通じて感じたことや自分の気持ちを言葉にするワークを行いました。同じ料理を食べて、同じ時間や空間を共有していても、それを表現する言葉は十人十色。

様々な捉え方や表現の仕方の違いを比べ合いながら、美味しく楽しい経験と共に、豊かな感情表現を身につけたメンバーたちでした。

サロン・ド・ポム
■〒534-0024大阪市都島区東野田町2-9-13 松和京橋第1ビル2F
■TEL：06-6881-2016
■業　種：エステサロン・リンパ施術マッサージ

https://www.

チャレンジクッキング

チャレンジクッキングでは、単なる調理実習ではなく、1枚のレシピから、調理工程、時間配分、役割分担、当日の実施と必ず起こるトラブルシューティングなどなど、これら全てをグループワーク形式で行っています。

1人でも作れるくらいの簡単レシピですが、これをグループで意思疎通しながら完成させる…となると、なかなかの頭脳労働です。

作業中の様子を見ていると、職業的な評価にもつながる部分が多々あって、見ているスタッフ側も色々と頭を使う時間となっております！

※11月の献立※
・レンジでパパっと「豚肉と白菜の重ね蒸し」
・スッキリ栄養！「さつま芋と豆のマッシュサラダ」
・やみつき!?「ピーマン漬け」

キャッチフレーズをつけてみよう！

人生は何とかなる

三品 香
（株式会社キャリアンヌ・代表取締役）

『キャッチフレーズを付けてみよう！』と題しまして、コピーライターとして企業広告などを手掛ける三品さん（写真左）と共に、自分自身のキャッチフレーズをつくるワークを行いました。
コピーライターという職業は何となく耳にしたことはあるけども、実際出会ったことがない…というのが大半だと思います。冒頭では、どの様にして三品さんがこの仕事に就いて行くのか？生い立ちを交えながら伺いました。
後半では、三品さんのガイドでAIツールに自分の特徴や大切にしている言葉などを入力しながら、各自のキャッチフレーズをつくりました。
どれもこれもユニークであって各自の特徴を伝える素晴らしい出来栄え！「AIスゲー!!」と言いつつ、サラリと操作できるメンバーたちもまた、時代に乗っててスゲーと思いました（笑）

■株式会社キャリアンヌ
■〒531-0076　大阪市北区大淀中2-1-1　小川ビル4F
ヨリドコワーキン内
■メール：info@carrianne.co.jp
■事業：ブランドコンサルティング・マーケティング・広告企画制作、DX推進・ECサイト構築・クラウドファンディングサポート

人生グラフ

恩は返すのではなく次の人に送るもの

糸井 泰博
（株式会社ゲット・ワークス代表）

現在は、大東市役所のすぐそばで有料職業紹介を行う糸井さん。「働きたいけど色々な理由で住む場所がない…」と言った方々を積極的に応援しておられます。そんな糸井さんの人生は、お父さんからの宿題と共にありました。「お前は何になるのか？」糸井さんが15歳なったその日から、お父さんは一人の大人として節目ごとに糸井さんに問い続けました。15歳から大人扱いですから、ヤンチャしても何しても、それは自己責任。当たり前の様ですが、お父さんにもそれ相応の覚悟がいる言葉です。
大学時代に自らの運転ミスで友人を亡くした糸井さん。罪の重さにつぶれそうになりながらも、それから40数年間、友の分まで必死に働き、友の代わりに沢山の人を支えてこられました。今の会社で、働きたくても中々働き口が見つからない人たちを親身になって支えておられるのも、糸井さんにとっては当たり前の感覚なのでしょうね。

株式会社ゲットワークス
■〒574-0076 大阪府大東市曙町３－２５
■TEL：072-806-4584
■事業：有料職業紹介、住宅確保用配慮者居住支援法人

からだ学

鼻から5秒吸って、口から5秒で吐く

松下健太郎
（藤本鍼灸治癒院）

藤本鍼灸治癒院
■大阪府吹田市内本町1-14-7
■連絡先：090-5064-9247

今回は『呼吸と自律神経』について学びました。胸式呼吸と腹式呼吸について学んだ後は、「最長発声持続時間テスト（MTP）」に挑戦！同じ音量でどの位長く発声できるかというテストで、長い人だと60秒を超える人も現れました。
呼吸には意識と無意識の2種類があり、緊張やストレスがかかると呼吸を忘れたりすることもあるそうです。逆に意識的に呼吸を整えることで自律神経にも良い効果が生まれ、睡眠前に鼻から5秒吸って、口から5秒出すといった腹式呼吸法を実践すると、より良い睡眠や休息が得られるそうです！

私の仕事の選び方

今回はマジックパフォーマーの「こんばらさん（吉本興業株式会社 所属）」を講師にお招きして、何故、芸人という厳しい業界での働き方を選択したのか!? こんばらさんの仕事の選び方に迫りました。

素人時代からテレビ番組等に出演していたというこんばらさんは、1996年に桂三枝（現 六代目桂文枝）に入門。漫才師として頭角を現し、若手の登竜門と呼ばれる今宮戎漫才新人コンクールで入賞するという実績もお持ちです。

そんなこんばらさんでも、やはり芸の世界は厳しくて、お笑いの収入だけでは食べていけない時期には、複数のアルバイトを掛け持ちしながら芸人生活を継続してこられました。 居酒屋、コンビニ、パチンコ屋、着ぐるみ、寿司屋、トラックドライバー…ここには書ききれないアレやコレやを合計すると、その数なんと50種類！一覧表を参加者と共に見ながら、その時々の体験を面白おかしく話してくださいました。数々の経験が「楽しんでもらう」をモットーとする、こんばらさんの芸人人生にも役立っていることは間違いないですね。

最後に、『こんばらさん』から「1日でもよいので一生懸命はたらいて下さい。」というメッセージが伝えられました。初めは怖くて勇気がいるかもしれないけども、自分から動くことでしか得られない経験の大切さを改めて学ぶ素晴らしい機会になりました！

一日でも良いので、
一生懸命に働いてみて下さい。

こんばらさん
（マジックパフォーマー/吉本興業所属）

マジックパフォーマー こんばらさん
■大阪府吹田市出身
■趣味：テレビを見ながらグチグチ言う
■入門：1996年桂三枝 入門

忘年会＆ビンゴ大会 2025

やり続けた人だけが見せる笑顔！

2025年もお世話になりました！

2025年度にご縁と交流をいただいた104名の皆さま。
社会と共に学ぶASTAGEスタイルは、こちらの皆さまをはじめ、多くの方々お支えによって成り立っております。改めて、心より感謝申し上げます。

株式会社アラカワフードサービス

社会体感実習の記録

株式会社アラカワフードサービス
■〒536-0023 大阪府大阪市城東区東中浜6-17-17
■TEL：06-6962-4122　FAX：06-6963-0172
■事業：業務用食肉・食材・調味料販売、
「ラーメン豚吉」経営、同FC本部

不安を減らす近道は、小さな準備の積み重ね

今回で2回目となる社会体感実習に挑戦した実習生。今回は、株式会社アラカワフードサービス（大阪市城東区）様にて、社会体感実習を行いました。

株式会社アラカワフードサービス（以下同社）は、城東区では有名な24時間営業のラーメン店『ラーメン豚吉』を運営する母体であり、50年近く城東区内で食肉卸業を営んでおられる歴史ある企業です。今回は10時～15時というデイタイムでの実習をお願いをしましたが、食肉加工の現場では、お届け先である各店舗がオープンする前に配達を終えるという業態ですから、夜中・朝方から業務は開始しておられます。

実習生が体験させて頂いた業務は、スーパーなどの小売店に出すパック肉を計量や、パック詰めのラップ工程でした。初めての立ち作業（写真下）に最初こそ戸惑いがあった様ですが、周囲のスタッフさんからのサポートを受けて、貴重な経験値を得る機会となりました。

今回の実習では、もう一つの裏話があります。実習先や訪問先が決まったら、事前に「下調べ」として道順を調べたり、実際にその道を歩いてみて、目印を探したり、時間を測ったりすることもまた、体感して欲しい大切なポイントです。今回の実習に参加したメンバーは、実習に向けた顔合わせの当日まで、そのような「下調べ」をせずにいました。本人には事前に伝えていましたが、「まぁいっか…、後でやればいっか…。」と後回しになっていた様です。顔合わせには当事業所のスタッフが同行しますので、「道がわからなくても大丈夫…。」との甘えにも似た感情があったと、後になって話してくれました。

顔合わせを終えた帰り道、スタッフから諭された後に、悔し涙を浮かべながら、駅からのルートを3往復したそうです。今回のやり方がベストではないかもしれませんが、このような小さな準備の積み重ねが、社会で求められる大切なチカラだと思います。その準備を怠った自分に気付くこともまた、社会体感実習の目的の一つです。

実習を終えてから数日後に、実習の振返りに伺いました。安田部長や植村副工場長からも、その人柄や姿勢を高く評価して頂いて、以前よりも自分に自信が持てる様になったようです。改めまして、アラカワフードサービスの皆さん、本当に有難うございました！

体感実習先から…

食品卸事業部 製造 副工場長
植村 政幸 さん

実習生が緊張していたり、疲れを感じたタイミングで、『飴ちゃん食べる？』と声をかけてくれた植村さん。その気遣いのお陰で、だいぶ助けられたそうです。最終日にお返しの飴を渡せたことは、貴重な経験となりました。

食品卸事業部 部長
安田 貴彦 さん

『3日間お疲れ様でした。実際に見ていて、まず言葉遣いや礼儀正しさがスゴく良いですね。こちらの指示に対しても確実にやってくれるので、全然大丈夫だと思いました。一番大事な「基本的なこと」ができています。』

株式会社ダイトー

社会体感実習の記録

社長のカバン持ち体験

ASTAGEカレッジとしても初の試みである「社長のカバン持ち体験」。その記念すべき第1回をお願いしたのは、この企画の生みの親と言っても良い（最下段『社長のカバン持ち体験が生まれるまで』参照）、株式会社ダイトー・牧さんです。
実習当日は、牧社長のお取引先の訪問（4社）に同行させて頂き、訪問先でのやり取りや、移動中に様々な対話を通じた沢山の学びを得る機会となりました。

午前9時30分に社屋を出発した二人は、４つの企業を訪問。事前に牧社長から、それぞれの取引先に今回の実習の主旨と同行訪問の許可を確認しておいたこともあって、どの企業様も歓迎ムードだったそうです。その現場での牧社長の姿勢や言動と一挙手一投足を間近に感じる中で、牧社長のお人柄もあって「段々と緊張感がほぐれていった。」そうです。

移動中の社内では、○○さんがこれまでに経験してきた様々な出来事や、その過程でメンタル不調に陥ったこと、そこからの回復を超えて、今、ASTAGEカレッジで何に挑み、何を学んでいるのか…etcなど、いつの間にかどんどん話している自分に驚くと同時に、それを聞いてもらえるという牧さんの持つ安心感を強く感じたそうです。

株式会社ダイトー
■〒555-0025　大阪市西淀川区姫里２丁目２番２２号
■TEL：06-4808-8038　FAX：06-4808-2577
■事業：研究用高純度試薬・医薬品・理化学機器・研究開発用機器等の販売

https://www.

その勇気があれば絶対大丈夫！

では、牧さんの目には実習生はどの様に映ったのでしょうか？牧さんが第一におっしゃったのは、実習生のスキルなどではなく、その「一歩を踏み出す勇気」でした。「僕と一緒に回るのも、すごい勇気がいったことやろうし、自分から前向きにやってはんなと思って。そこが一番すごいなと思いました。嫌やったら逃げるもん、普通。でも彼女は逃げなかった。その勇気があれば、今後の人生で何かあっても絶対大丈夫やと思います。」とストレートなコメントが返ってきました。

そんな温かな牧さんの人間性に触れた実習生からは、「牧社長自身の過去の失敗談や、人間関係の悩みについての自己開示があったからこそ、自分も全てをお伝え出来て、勇気と自信を得られた。」と当時の心境が語られ、それを受けた牧社長からは「僕だって最初からこうだったわけじゃない。銀行員時代は緊張でご飯が食べられへんかったこともある。自分の思いを大事にするためには、まず自分から心を開かないといけない。自分がさらけ出せば、相手も返してくれる。出さない奴とは付き合わへんかったらええぐらいの気持ちでいい。その方が、生きるのがめちゃくちゃ楽になりますから。」と温かなエールを頂きました。
単に業務を追体験するだけではない、濃密な時間を過ごせたようです。牧社長、訪問先企業の皆様、有難うございました！

『社長のカバン持ち体験』が生まれるまで

この企画は、企業LIVE学習で『株式会社ダイトー』様を訪問した時に、牧社長が参加メンバーに向けてエールを送って頂いたこんなコメントから生まれた企画です。
「どんなカタチでも良いから、会社に来てくださいね！ちょっと見に来るだけでも良いし、営業車の横に乗るだけでも良いし…。皆さんのチャレンジを応援しますよ！」
ASTAGEカレッジのメンバーのほとんどが、将来は社会の中で働いていきたいと考えているので、この言葉を逃がす手はありません。

就労支援の世界では、企業見学や面接会などで経営者や人事担当者のお話を聞くことはあっても、社長業に同伴するといったお話は全く聞いたことがありません。私たちとしても全く初めての経験でした。守秘義務や個人情報保護が叫ばれる中で、実際に業務にどの様に実現すれば良いのか？相当高いハードルに思えましたが、牧社長のご厚意や、訪問先企業様のご理解・ご協力によって実現することができました。牧社長、訪問先企業の皆様、本当に有難うございました！

ビジター参加の皆様 VISITOR

ASTAGEカレッジでは『共に学び合い、共に教え合う』ことを目的に、積極的にビジター参加を受け入れています。
様々な経験や異なる立場を持った方々が出会い、共に歩むASTAGEカレッジに来てみませんか？
皆様のご参加をお待ちしております。

藤原智子 さん
株式会社ポムスタイル

富岡恵美 さん
セラピー整体サロン

坂田咲子 さん
ライクファミリー
訪問看護ステーション

河井亜香里 さん
みもざ訪問看護ステーション

谷口多絵子 さん
ライクファミリー
訪問看護ステーション

南部直子 さん
ウエスト・デイライト㈱

上田恵 さん
NO.1 HEROES

加藤恭太郎 さん
株式会社みらい創生社

菅原香 さん
合同会社ダイアローグ

山口祥子 さん
訪問看護ステーションるみな

坂口英子 さん
英語寺子屋studio seed

鈴木愛 さん
明文堂

大崎麻佐子 さん
さちたび屋

君嶋信子 さん
合同会社ワークウェルネス研究所

萩原寛治 さん
心身統一合気道会

野元和明 さん
まごころ日和マッサージ

アスカレMAGAZINE編集部

ASTAGEカレッジでは、以下の視点や考え方、学びを大切にしています
自立訓練＝自立＋自律（自分の意志で選択・決定していく力）の育成
生活訓練＝社会生活力（社会の中で生き抜く力）の育成

ASTAGE college

モジャモジャがハテナに、
ハテナがピッカーンになる学校。

ASTAGEカレッジでは、
一緒に学ぶメンバーを募集しています！

見学や体験は随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください！

■お問合せフォーム　■公式Instagram　■公式Blog

社会に学ぶ 社会の中で学ぶ 社会の一員として学ぶ

編集・発行元 **ASTAGE college**
自立訓練（生活訓練）事業所　アステージカレッジ

〒536-0008
大阪市城東区関目5-3-9-2F
☎06-4400-1882　FAX 06-7633-8863
✉ info@omitas.net

ASTAGEカレッジは、こんなお悩みをお持ちの方をサポートする専門機関です。

- ■病や障がいについて相談したい方
- ■会社を休職中の方
- ■就職サポートを受けたい方
- ■不登校・引きこもり
- ■家族や関係者からのご相談
- ■居場所・仲間づくりをしたい方

■京阪「関目」
■地下鉄
「関目高殿」
「関目成育」
から徒歩3分

見学・体験
随時受付中